

経営比較分析表

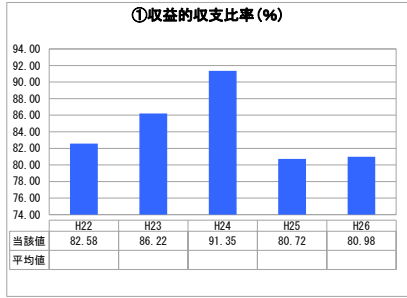
佐賀県 白石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.33	92.36	3,672

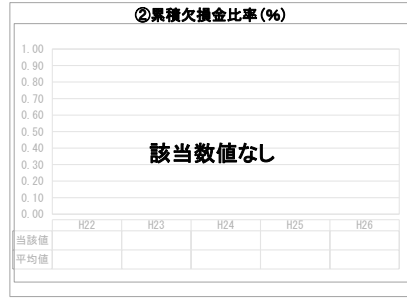
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,746	99.56	248.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,000	2.54	1,968.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



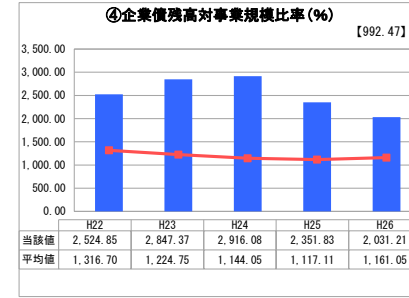
「単年度の収支」



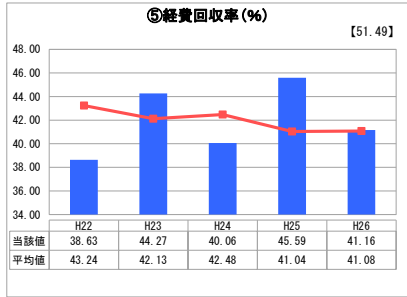
「累積欠損」



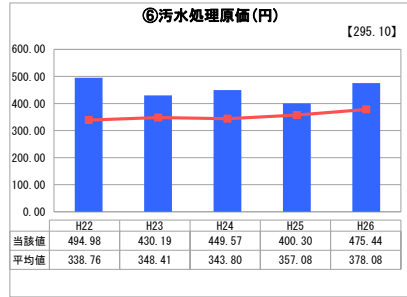
「支払能力」



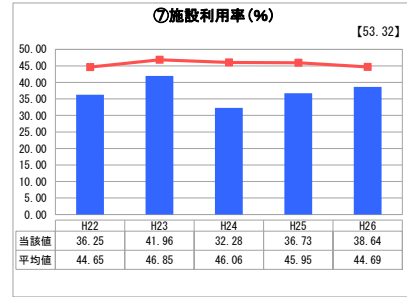
「債務残高」



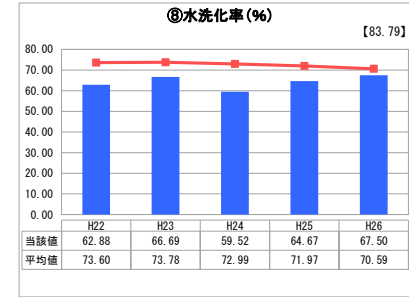
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

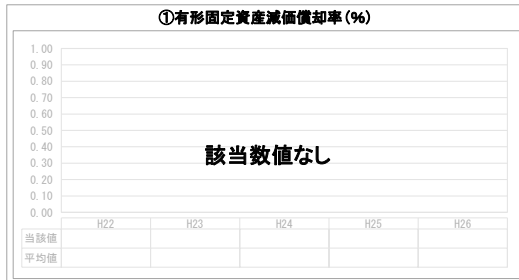


「施設の効率性」

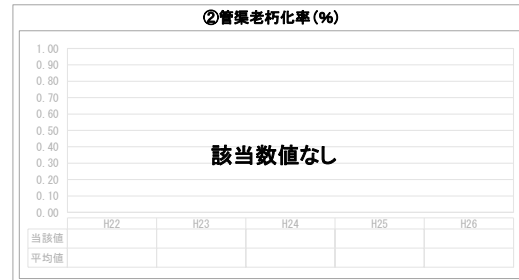


「使用料対象の捕捉」

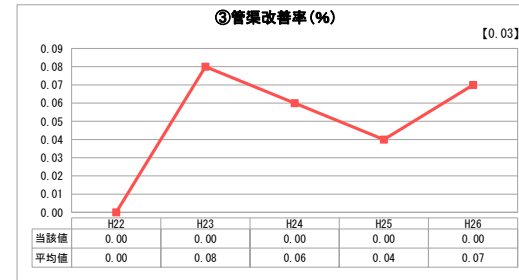
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は赤字であり、接続率が低いため、維持管理費等の費用を使用料で賄えず、一般会計繰入金等に依存している。
収益的収支比率の平成25年度の落ち込みは、新たに供用を開始した須古地区の維持管理費の増に対し、使用料を十分確保できなかったものと考えられる。

2. 老朽化の状況について

供用開始後15年が経過しており、経年劣化や老朽化により、機能低下が生じている。
平成27年度から計画的に機能強化事業に取り組み、長寿命化を図っている。

全体総括

今後も接続促進を図り、有収水量の確保と水洗化率の向上に努め、経営の健全を図る。
また、長寿命化に取り組むことにより、事業の効率的な運営を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。